

## 会 議 録

会議の名称	平成30年度第1回本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会
開催日時	平成30年 11月19日(月) 午前 10時00分から 12時00分まで
開催場所	本庄市役所 6階大会議室
出席者	(委員) 田中 輝好委員、齋藤 康雄委員、戸谷 正夫委員、 間庭 英雄委員、福島 賢俊委員、坂本 雄平委員、 田中 弘和委員、高橋 博志委員、江原 貞治委員、 金井 剛委員、稲継 裕昭委員、堀口 芳嗣委員、 吉田 永子委員、若林 圭委員、新船 直人委員 (事務局) 山下部企画財政部長、中山総務部長、反町市民生活部長、 山田福祉部長、中田保健部長、木村経済環境部長、 浜谷都市整備部長、稲田教育委員会事務局長、 大屋議会事務局長、福島上下水道部長 企画課：笠原課長、武正課長補佐、齋藤主査、渡邊主事補
欠席者	清水 義雄委員、明堂 純子委員、田邊 晶子委員、小林 由美委員、 富沢 峰雄委員、金井 幹雄委員、安部 逸郎委員、宮下 哲治委員、 戸谷 清一委員
議題 (次第)	1. 開 会 2. 委嘱状交付 3. あいさつ 4. 自己紹介 5. 座長の互選 6. 議 事 (1) 事業の進捗状況及び評価について 7. 閉 会

配付資料	<p>○事前配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会委員名簿</li> <li>・資料2 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本戦略4分野の指標</li> <li>・資料3 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 個別施策の進捗分類</li> <li>・資料4-1 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価一覧</li> <li>・資料4-2 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート</li> </ul> <p>○当日配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度第1回本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会 次第</li> <li>・資料4-1 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価一覧 (訂正)</li> <li>・資料4-2 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート (訂正分)</li> </ul>
その他特記事項	
主管課	企画財政部企画課

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
1. 開 会	
事務局	<p>皆様、こんにちは、お忙しい中、平成30年度第1回本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。本日、進行を務めさせていただきます、企画課の笠原と申します。</p> <p>会議に先立ちまして、ご報告と資料確認をお願いします。本日、6名の方から欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。まず、懇談会は原則として公開とさせていただいております。なお、本日は傍聴者がおりませんので、ご報告いたします。</p> <p>また、本懇談会の資料、議事録につきましては、発言者の氏名を委員表記としてホームページに公開させていただきたいと考えております。</p> <p>よろしくをお願いします。</p> <p>(配布資料の確認)</p> <p>それでは、平成30年度第1回本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会を始めさせていただきます。</p>
2. 委嘱状交付	
事務局	<p>吉田市長より、委嘱状の交付を行いたいと思います。</p> <p>(本庄市長より、各委員に対し委嘱状の交付)</p>

3. あいさつ	
市長	<p>本日は、平成30年度第1回まち・ひと・しごと創生懇談会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。まち・ひと・しごと創生総合戦略は、急速に進んでいる少子化高齢化、人口減少に歯止めをかけるため、将来展望を示しました本庄市人口ビジョンと合わせまして平成28年3月に策定したものでございます。人口減少はすぐに止められるものではございません。しかしながら、結婚・出産を望んでいる若い方々の希望が叶いますと出生率1.4から1.8ぐらいになると言われています。この1.8を目標にまち・ひと・しごとの各分野において、行政だけではなく産学官金労言の分野の皆様とともに施策を進めているところです。施策の推進にあたり、PDCAサイクルをしっかりと回して事業の検証を行っていくため、今回お集まりの委員の皆様が市が昨年度実施した施策のチェックをしていただくというのが懇談会の大きな目的でございます。色々な施策がございますが、本市において、出生数の上昇が大きなポイントとなるのではないかと考えています。そのためには、結婚しやすい環境、子育てしやすい環境、また出会いの場をしっかりと作っていくことが大事です。さらにはそれを支えるために就業機会の拡大、働きやすい労働環境をつくることも必要です。継続して様々な角度から施策をすすめていかなければならないと思っております。本市の今年の出生数は、昨年より若干増え、良い傾向となっております。また、本市は、ここ数年転入が多い、社会増となっておりますがこの状態をキープしつつ、出生数を増やしていくことが必要です。今年度、県のAIを活用した婚活事業がスタートしました。本市の社会福祉協議会が県内の3拠点の1つとして選ばれ、多くの若い人の結婚を後押しできるよう取り組んでいるところです。</p> <p>皆様におかれましては、本市の総合戦略の施策について大きな観点から、ご意見をいただくとともに今後のまちづくりについてもご提言いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>(市長は所用によりここで退席)</p>
4. 自己紹介	
各委員、事務局の順に自己紹介	
5. 座長の互選	
企画財政部長	本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会設置要綱により、座長は委員の互選により定めることとなっております。いかが取り計らいましょうか。
委員	前任の座長である稲継委員にお願いしたらいかがでしょうか。
企画財政部長	稲継委員にお願いしたいという意見がございました。皆さまいかがでしょうか。
委員	(異議なし、拍手)
企画財政部長	それでは、稲継委員に座長をお願いしたいと思います。
座長	(座長のあいさつ) 改めまして早稲田大学の稲継です。日ごろより早稲田本庄キャンパスをは

	<p>じめ、早稲田大学は色々な形でお世話になっております。本庄市には、昨年、一昨年の2年間、大学のゼミで政策提言をさせていただき、生徒にご意見や励ましを頂戴いたしました。検討にあたり、企業や地元の団体の皆様にご協力をいただき御礼申し上げます。</p> <p>さて、まち・ひと・しごと総合戦略は増田レポートが提出され創生本部ができ、当時は勢いがありましたが、現在国全体の取り組みとしては失速感があるように思います。しかし、将来の人口減をどのように食い止めるか、国としても市としても施策を進めていかなければなりません。フランスは人口減を様々な施策で解消しており、日本も解消していく方策を見つけなくてはなりません。また本庄市でも自然増、とくに出生増をどのように導くことができるのかが、総合戦略の要かとも思います。</p> <p>本日は懇談会として忌憚のない意見を出していただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
6. 議事	
(1) 事業の進捗状況及び評価について	
(資料2、資料3、資料4-1 について 事務局より説明)	
座長	資料が多岐にわたりますので資料3を見ながら話し合いを進めていきたいと思えます。分野が4つに分かれていますので、順に進めていきます。まず、①しごと分野についてご意見がございましたらお願いします。
委員	工業立地について市内業者であっても苦勞をしている状況です。インフラ整備が足りないと思えます。群馬県は積極的に進めていて、育った企業が市外に出て行ってしまっている現状があります。基本的なインフラを市が進めて欲しいです。
経済環境部長	市が保有する工業団地はありませんので基本、誘致活動は民有地とのマッチングとなります。新たな工場等が新設できるよう土地の創出を進めて行く必要があります。現在のところ、農業振興地域や都市計画の問題があり難しい状況ですが、新たな工業団地の創出を検討して参りたいと存じます。
委員	埼玉県からは、本庄市の要望がないと聞いており、市のやる気が見られないと感じています。市内に立地することが難しく市外に企業が出て行ってしまっている現状を理解して欲しいです。
座長	市は全体のインフラの整備について、意見を受け止めていただきたいと思えます。他にご意見はございますか。
委員	関越自動車道の本庄児玉インターチェンジ（IC）の周辺が、活用されていません。工業でも商業でも何か活かせるような施策を進めて欲しいと思えます。また、県内でも本庄市は農地転用許可が下りにくいと言われていいますので改善をお願いしたいです。
座長	ご意見ありがとうございます。市からの回答がございますか。
企画財政部長	IC周辺の土地の活用については総合振興計画を策定している段階においても、ご意見をいただいたかと思えます。農業との関係もございますが、市

	<p>民の皆さまのご理解を得ながら、発展に向けた方策を見出していきたいと考えております。また、委員からの指摘がありましたが、工業立地についても、市だけが動いても弱い部分もございますので埼玉県へ経済環境部と企画財政部の両方から働きかけを行って参りたいと存じます。</p>
経済環境部長	<p>I C周辺の土地は、農業振興地域内農用地区域の通称、青地がありまして周辺に新たな産業等が誘致できる状況があれば、強く県へ要望して参りたいと思います。農用地区域外農地（白地）にする方法についても検討をして参りたいと思います。</p>
委員	<p>I C周辺の土地については、総合的な政策を検討していただき、要望等は県や国にしていいただきたいと思います。農業委員会制度も変わるので市長の権限で農地転用の手続き等の改善を図って欲しいです。</p>
委員	<p>農業者の立場で言うと工業や産業の誘致が、住みたくなるまちになるとは限らないと思います。豊かな緑があって、農業を地域で支え合って、住んでいる子ども達が、豊かな心を持てるのがすばらしいのではないかと思います。</p>
委員	<p>農業の振興や豊かな緑を維持することは必要ですが、本市は他市と比べて、インターチェンジ周辺の活性化が図られていないため、是非、政策的に進めて欲しいと思っています。</p>
委員	<p>昔から農業をしている土地周辺に農地転用等で住宅が建ち、お互いを理解できなくて農業者と住居者で争いとなるようなこともあると伺っています。お互いに理解することが必要だと思います。また、新たな開発や誘致の他にも、本庄市にある魅力的なものをPRすることが、人口減少対策につながると考えています。</p>
委員	<p>雇用についてお話をさせていただきますと、働き方も多様化しており、工場では夜勤等の働き方を選ぶ若者が少なくなってきました。求人を出して新卒の高校生を雇用する場合につきましても、なかなか希望がない状況です。</p> <p>U I J ターンの推進として、私見ですが、工場より開発部門、研究センターのほうが働いている人数が多いし、定着するイメージがあるので、企業誘致の際は、開発部門等を誘致することが良いと思います。</p>
座長	<p>ご意見ありがとうございます。市から説明はありますか。</p>
経済環境部長	<p>企業誘致につきましては、市側から工場、開発部門等を指定しての誘致はなかなか難しい部分がございますが、今後検討を進めてまいりたいと思います。</p>
委員	<p>市の工業用地の指定があるが、道等のインフラが整っていないのが現状です。指定したのに未整備なのは良いと言えません。また、住宅の開発等にも注意を払うべきです。I C周辺から本庄早稲田駅周辺、児玉工業団地にかけて開発すれば市の財産となると思います。他の自治体は、I Cを作り周辺を開発しているぐらいですので、政策を立案して進めて欲しいです。</p>
座長	<p>ご意見ありがとうございます。他に意見がございますか。</p>
委員	<p>(意見なし)</p>

座長	ないようですので、ひと分野へ移ります。ひと分野についてご意見等がございませうか。
委員	農業従事者の中で若い者で家庭を持っているものもいれば、結婚していない方もいらっしやいます。また、大半の方が、消防団等の地域の活動やボランティアに携わっています。地域に根付く農家の後継者対策として、市で婚活イベントを開催し、市のPRにより、多くの方が参加をしてほしいと思っています。
座長	戦略の施策では出会いの場の創出の部分でしょうか。資料4-2のN0, 22~24までに記述がされております。ご意見ありがとうございました。他にございませうか。
委員	市長からお話がありましており、本市は人口減少が進んでいる状態です。自治会でも心配をしており、社会福祉協議会と婚活に力をいれておりますが、男性の方があまり積極的にならない、職業が安定していない人が多いと感じます。結婚がしたいけれども将来が不安定で結婚ができない、子どもを産みたいのに経済的理由により生めない方が多くいらっしやいます。この状況をなんとかならないかと思っているところです。
座長	ありがとうございます。非正規雇用の問題は国としても同一労働同一賃金等様々な施策を進めておりますが、なかなか正規雇用の賃金と同一にならないところがある中でどのように結婚等に結びつけていくかというご意見でした。なかなか市役所では難しいところかと思いますが、このことを念頭において色々な施策を考えていただきたいと思ひます。
委員	企業誘致の際は、地元採用を交渉条件とすることはできるのでしょうか。
経済環境部長	新しい企業を誘致した際は、地元での採用をお願いすることになります。人数を決めることはなかなか難しいと思ひます。地元の人を採用していただければ企業誘致奨励金が増えることをアピールしていくことになります。また、市で産業団地を保有していないので民有地のマッチングの際にお願いをすることになります。
座長	市は、企業誘致の地元採用に対する奨励金があるのですね。
委員	はい、あります。
座長	他に意見はございませうか。
委員	先ほどから企業と働き先、人を呼び込む等お話がございまして。 金融機関として企業誘致を担当しておりますが、他県や他市から本庄へ会社を移すにあたっては、インフラと雇用が確保できるかどうかという観点があります。特に本庄市近辺は他県や他市より働き手の確保が弱いと感じています。この地域は働き手がないわけではなく、様々な職種のマッチングがうまくいっていないところがあります。特に、インフラは、企業において比較する部分となりますので、とても重要です。企業が誘致できたからといって、働き手がいないと企業は困ってしまいます。美里町では、広報において求人をしてあります。企業を行政がバックアップする必要が出てきていると感

	<p>じています。</p> <p>本庄市は、決して働き手がないわけではなく、マッチングがうまくいっていないので、市や民間の努力で解消はできると思います。</p>
座長	<p>貴重な意見ありがとうございました。いままで民のビジネスの部分について行政は手を出してはいけない制約がありましたが、色々な形で行政が民の分野に関わることで最終的に地元の活性化につながるということで本庄市も可能であれば、考慮をしていただきたいということでした。</p> <p>他に意見はございますか。</p>
委員	<p>私は長瀬に住んでいますが、年々人口が減少している状況です。残念なこととして産科病院が一つもなく、秩父や深谷で生むことになってしまいます。本庄市についても安心して子どもが生まれる環境が必要です。産科医になるまで8年から12年かかるといわれていますので市として、教育、福祉、財政どの分野でもよろしいので、医者を育てるという観点から市で開業する産科医に補助金を出すような施策を検討してはいかがでしょうか。やっとなら秩父市では取り組みを始めましたが、産科医が開業するまでには至っておりません。本庄市も長期的に見通して施策を進めていただきたいと思います。</p>
委員	<p>商工会議所の関係で確認したことがございますが、産科病院は、秩父市に1件、本庄市は2件だったかと思います。</p>
座長	<p>本庄市としてできることが何かございますか。</p>
保健部長	<p>委員からお話がありましたとおり、本庄市において出産ができる産科は2病院ございます。産科についてはリスクが大きいことと24時間365日待機していなければならない大変きびしいことから出産ができる産科が少なくなってきたのが現状です。今後検討すべき課題として医師会と検討を重ねて参ります。</p>
座長	<p>まち分野に移りたいと思います。まち分野についてご意見等ございますか。</p>
委員	<p>自治会としては、少子化と並んで空き家が問題となっております。年々空き家が増えており、自治会としては、防犯上の草刈等をおこなっております。空き家対策について、国も対策を始めて、市についても空き家に対して何かやっていたらいいか、協力いただけるか伺いたいと思います。</p>
座長	<p>空き家については法律も制定され、特別措置法で除却ができることとなりました。資料4-2のNo. 59、60、61で空き家対策事業が記載されています。市から説明はございますか。</p>
都市整備部長	<p>委員からお話のありました空き家・空き地については防災面やまちなか再生のために支障となっていること、一方で空き家バンクや生活要配慮者のために活用していくことなど、対策には都市整備だけでなく福祉や防災など多岐にわたります。座長からもお話がありましたとおり国も対策を進めており、詳しくはまだお伝えできませんが、市としても施策を総合的に進めていくための議論をしていかなければならないと認識しております。適宜皆様にお伝えができるようにしていきたいと思っておりますのでしばらくお待ちいただければ</p>

	と存じます。
委員	まちなかは、建物と土地の所有者が違う場合が多く、借地権の問題があり、それをどう解消するかが重要だと思います。
座長	ありがとうございました。他に意見はございますか。
委員	(意見なし)
委員	それでは魅力創造分野についてご意見はございますか。
委員	本庄市の入込客数は約70万人となっておりますが、私の住んでいる長瀨町は、観光で全国的に有名となっていて約300万人、また、故郷の佐野市は年間800万人でアウトレットやラーメン、イモフライなど有名な場所や特産があり、観光客を呼び入れることができます。今度、深谷市へアウトレットができると、本庄市は通過点になってしまう恐れがあると思います。配布資料を見たところ、観光施策として道の駅等の記載がありますが、あまり目新しいものがないように思います。その他、市は観光施策をどのように進めていくのかをお聞かせいただければと思います。
座長	ありがとうございました。観光入込客数のKPIの年度目標は達成していますが、更に増加させるために課題があるのではないかとのご意見かと存じます。市からの説明はございますか。
経済環境部長	本市には、長瀨、佐野のように有名な観光施設がないのが現状でございますがそれも課題の一つではあるかと思えます。昨年度、観光振興計画を策定しまして、今後、事業を展開していくところです。策定の際、課題として見えてきたのが市民であっても本庄の魅力や観光地をご存じない方もいらっしゃるということです。まず、市民の方々に知っていただく取り組みをしていきたいと考えております。その後、市外にも発信していく予定です。本庄市の魅力を知ってもらい取り組みとして体験型観光を今年度から進めております。市の魅力を市民に知っていただき、おもてなしの心を持ち、市外に発信し、観光入込客数を増やしていきたいと考えているところでございます。
委員	観光分野の中でスポーツレクリエーションイベントの記載があり、本庄市ではトレイルランニングやウォーキングイベント等のスポーツイベントを行っているということでしたが、さいたま市では、自転車大会、佐野市では、クリケットの国際大会の会場を作って誘致していく取り組みをしています。本庄市についても、これからオリンピック、パラリンピックに向けて、スポーツが盛んとなり、国際的な大会を誘致し、継続して取り組んでいくような考えはいかがでしょうか。
企画財政部長	スポーツレクリエーションイベントについては、委員のお話のとおり、ウォーキングイベントやクロスカントリー、ハーフマラソンを実施しております。実施にあたり、サッカーの川淵キャプテンのご意見、ご指導をいただきながら進めているところです。東京オリンピック、パラリンピックが2年弱となってきたところで、本庄市では、目が不自由な方のサッカーであるブラインドサッカーの東日本の大会を誘致し、今年の夏に若泉運動公園で開催い

	<p>たしました。今後、継続して誘致を進めることによりスポーツの振興を進めていくとともに本市のPRに繋げていきたいと思ひます。また、パラリンピック関係では、今年10月にトルコ共和国と事前キャンプ地の覚書を交わしたところだす。本庄市も市長を中心に行政だけでなく関係団体や地域の皆さまの協力のもと、世界とつながらうように取り組みを進めていこうとしていひます。引き続き関係団体や企業の皆さまのご協力をお願いいたひます。</p>
委員	<p>魅力創造分野で、市でスポーツイベント、早稲田ハーフマラソン等色々と実施されておりますが、客観的に見て参加者の心をつかむ内容ではないと思ひます。例えばランナーにとって公式記録を残せる大会は魅力があると思ひます。深谷市のマラソンは東京マラソンと同じ日に開催してひます。東京マラソンに合わせて調整してひた人が抽選に漏れても走ることができます。そういつた意味で早稲田のマラソンも悪くはないですが、参加者の背景や人の集客の面では魅力に欠けるといつところがあります。</p> <p>また、自転車では、旭小学校の生徒がBMXの世界大会で優勝しましたが、練習には秩父まで通っているそうです。市に余っている土地があれば練習場に提供することもできるかと思ひます。本市が自転車のまちづくりをしていくには、本市には自転車のもととなったかもしれない陸船車の背景があったり、東小学校が交通安全の大会で優勝したりとか、粒が揃ってきいてるところだと思ひます。また、本庄市では市民一人1スポーツということを掲げていることだすが、熊谷市はラグビータウンというイメージがついてひように戦略的、特徴的にイメージを絞ったほうが良いのではないかと思ひてひます。塙保己一先生についてもある側面では、盲目の偉人として盲目をフォーカスしてひますが、学問をフォーカスとしてひる側面もあり、イメージを絞ってひない印象があります。本庄市ブランドを作るときに塙保己一先生のイメージを一本化していく必要があるのではないでしようか。一つの突破口としては、土台を固めて打ち出すものを一つに決めたほうがより波及効果があるのではないかと思ひます。</p> <p>最後に郷土愛の醸成についてだすが、現在一部の小学校では、授業でまっりのお囃子を体験でき、文化に触れる機会を作っています。これは地域性もあり、すべての学校でできることではないかと思ひますが、本市の文化に触れる良い取り組みであり、このような取り組みから将来、本市のまちづくりに貢献できるような人材が育つことにつながりますので、是非そのような部分からも進めていくのが良いのではないかと思ひました。</p>
座長	<p>貴重なご意見をありがとうございます。施策には選択と集中ということだでした。あれもこれもではなく、的を絞ったことが大事というご意見だでした。お時間も限りがございますので、分野に限らず、まだご意見をいただいてひない方からお話をいただきたいと思ひます。</p>
委員	<p>保育園の待機児童は、資料を見ると0人となっておりますが、実際には、住んでいる地域に希望があっても入園できない場合があります。また、保護</p>

	<p>者からは、子どもが夜間に病院にかかるとなると、市内になかなかなくて伊勢崎市に行かれたとか、救急についても市外にいかなければならないということをお伺いしております。</p> <p>また、資料を拝見して感じてしたのは、本庄地域の駅を挟んだ南と北、児玉地域はそれぞれ地域性が違うと思います。地域を分けてデータ分析をする課題が見えてくるのではないかと思います。</p>
座長	ありがとうございました。他の委員で意見はございますか。
委員	<p>先ほど委員の意見がございましたが、本庄市が本当に住みたいまちかどうかは、やはり子育て世代がここで子どもを育てたいとか、出産したいとかという点であると思います。伊勢崎市をみますと、公園がたくさんあり、魅力的です。同様に本市においても公園を作ると大変なことかと思っております。市内の保育園や幼稚園40園以上の施設があり、限定開放をしております。また、安全に遊べるように保育士、幼稚園教諭がいますので、それを充実させられたらと思っております。欧米では幼児教育を充実させることが将来的にとっても効果があると実証されており、待遇も学校教員と同一となっております。保育士や幼稚園教諭が研修等で色々と学んでいただき、幼児教育を充実させて、若い世代が本庄市で育てたい、出産したいと思っただけのような環境を整えていきたいと考えております。</p>
座長	ありがとうございました。ご意見いただいていない委員さんからはいかがですか。
委員	<p>市民グループで12年間ぐらい活動しております。本庄市北口の中仙道の古いまちなみの中でいくつか活動をさせていただいて、宮本町にあった古い蔵を活用しております。文化財の保存活用についてですが、本庄市にはいろいろな文化財がございます。老朽化した資料館や新たに整備した旧商業銀行煉瓦倉庫がございますが、本市に来られた方に文化財をどのように知らせていくかはこれからの課題であると考えています。また、休日、よく中仙道を歩かれる方がいらっしゃいますが、食堂が開いていないのでどこで食べればよいのか聞かれることがよくあります。</p> <p>また、北口は古く魅力的なまちで、路地がいっぱいあるのですが、建物を活用するときに法律上、道路と認定できるかという問題もございます。</p> <p>行政と相談しながら、進めておりますが、魅力的な施設や文化財を活用できるよう進めていきたいと考えているところです。</p>
座長	ありがとうございます。お時間となりましたのでここで議事を終了させていただくこととなります。皆様からの様々なお意見をいただきましたが、評価としては、妥当とさせていただきますことよろしいですか。
委員	はい。
座長	それではここで座長の責を降ろさせていただきます。議事の進行のご協力、熱心な意見をいただきありがとうございました。

事務局	<p>皆様には、貴重なご意見をいただきありがとうございました。稲継委員には座長を務めていただき、大変ありがとうございました。</p> <p>それでは次第7閉会でございますが、以上をもちまして本日の議事は全て終了いたしました。長時間にわたり大変ありがとうございました。</p>
-----	---